

ベル少額短期保険(株) 第1回全国代理店研修会を開催

葬儀専門事業者に特化した代理店網

6月から保険料定額更新特約を取り扱い

葬儀費用サポートプラン「千の風」を提供しているベル少額短期保険(福岡県福岡市)は4月28日、東京都港区の世界貿易センタービルで「第1回全国代理店研修会」を開催した。同社は2008年3月31日に少額短期保険業者の登録を完了し、6月から営業を開始。販売チャネルを葬儀専門事業者に特化し、着々と販売網を拡充してきた。09年3月末時点の代理店数は75社、募集人登録数は500人で、新規契約件数も初年度目標を大幅に超えた。第1回目となる全国代理店研修会では同社の日下代表取締役が今後の事業方針などを示したほか、同社営業部が今年6月からの保険料定額更新特約の取り扱いについて説明した。

研修会で日下氏は「当社は葬儀業界に特化し、商品開発もすべてお客さまと葬儀業界に役立つように全力を挙げる」と強調。葬儀業界への後方支援として①顧客層の拡大につなげる方策の研究と実践②消費者ありきの発想と実践③代理店との関係の理解調和推進と実践―に力を入れると述べた。

また、少額短期保険会社としての位置付けを確立するとともに、金融庁監督下にあることを認識し、啓発に努めると説明。「法令に基づく教育指導の徹底推進や、少額短期保険会社としての意識の啓発と実務を推進する」と話した。

加えて「2008年6月から発売した『千の風』は09年3月末までの新規契約が2707件になった。引き続き、葬儀業界とのパートナーシップに基づいた事業を展開していく」との考えを示した。

「千の風」は15歳から加入可能。加入年齢範囲を80歳10カ月まで拡大するとともに、死亡保険金額100万円プランに200万円プランを加え、65歳から加入可能な保険金50万円の「千の風シルバープラン」と合わせ商品ラインアップの充実を図る。いずれも最高99歳まで保障する。ただ、両方とも年齢に応じて保険料が上がる仕組みになっているため、今年6月から保険料定額更新特約の取り扱いを開始する。

この特約は同社が定めた保険料プラン(月払保険料3000円・5000円・7000円)の中から、契約者が保険料を指定し、更新後も指定した一定の保険料になるよう更新後の保険金額を設定(減少させていく)するもの。

同社営業部は「従来の保障金額重視に加え、保険料にも重きを置いた商品・特約構成とすることで、お客さまのより幅広いニーズに応えることが可能になる。また、『千の風』と同特約を組み合わせて、顧客層の拡大もできる」とし、5月中旬から順次、既契約者に同特約を案内すると説明した。

さらに、今年5月以降、募集人資格者全員を対象に、コンプライアンスと新商品の販売など内容とする一斉研修を実施すると話した。

このほか、日本少額短期保険協会の百合本事務局長が少額短期保険業界の現状、保険募集、顧客情報管理に当たった際の留意点、コンプライアンスのセルフチェックなどに関して解説した。



日下氏



多数の関係者が出席した研修会